

UDP-N-アセチルグルコサミン 2-エピメラーゼ (加水分解)

Cat. No. EXWM-3867

Lot. No. (See product label)

はじめに

○明

この酵素は哺乳類の肝臓に存在し、また、*口膜炎菌* (*Neisseria meningitidis*) や黄色ブドウ球菌 (*Staphylococcus aureus*) を含むいくつかの病原性細菌にも見られます。これは、シアル酸 (N-アセチルノイロミン酸) 生合成の最初のステップを触媒します。最初に生成される産物は α アノマーであり、これは迅速にアノマーの混合物に β 化します。哺乳類の酵素は二機能性であり、EC 2.7.1.60、N-アセチルマンノサミンキナーゼも触媒します。cf. EC 5.1.3.14、UDP-N-アセチルグルコサミン 2-エピメラーゼ (非加水分解型)。

別名

UDP-N-アセチルグルコサミン 2-エピメラーゼ (あいまい); GNE (遺伝子名); siaA (遺伝子名); neuC (遺伝子名)

製品情報

形態

液体または凍結乾燥粉末

EC番号

EC 3.2.1.183

反応

$UDP\text{-N-アセチル-}\alpha\text{-D-グルコサミン} + H_2O = N\text{-アセチル-D-マンノサミン} + UDP$

備考

このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法

短期保存の場合は+4 °Cで保管してください。長期保存の場合は-20 °C~-80 °Cで保管してください。